

カーボンプライシングのあり方に関する検討会（第1回）における委員からの主な御指摘事項

【議題4：我が国の温室効果ガス排出量及び炭素・エネルギー生産性等の現状】

- 米国は連邦レベルではパリ協定からの離脱を決定したが、企業や州レベルではむしろ加速していることをおさえておくべき。日本で石炭火力の割合が伸びているといった指標は悪い意味で目立つ危険。
- 経済・社会との同時解決については、長期低炭素ビジョンをブレークダウンし、具体的に議論する必要がある。日本でも個別に見れば先進的な取組をしている企業等があり、事例を積極的に公表すべき。
- 石油石炭税、温対税が既にある中で、なぜ我が国の炭素生産性が上向きにならなかったのか要因分析すべき。
- 石炭火力は1990年代以降一貫して増え続けており、今までの政策手法が良くなかったと言える。
- 分析に当たっては、自主的取組が重視されてきたこと、地理的状況、産業構造やエネルギー供給構造等、日本特有の状況を踏まえる必要がある。
- 予測に関して不確実性のある気候変動の問題では、不確実性の大きい資産はリスクが高いため相当割り引いて評価するリスクプレミアムの考え方と同様の観点で考え、現時点で多くのコストを払ってでも食い止める意義があるという考え方になるのではないか。

【議題5：カーボンプライシングの意義】

- 現状の暗示的カーボンプライシングの把握のみならず、過去の制度変更による効果の度合いの検証をすべき。
- 既存の地球温暖化対策税の税率引上げによる効果のシミュレーションと、これまでの税収の使途の両方について検証する必要がある。
- 温対税の税率は非常に低く、行動変容は期待しづらい。石油石炭税は必ずしも低炭素な燃料種に誘導する仕組みでない点が問題となっている可能性。長期大幅削減を前提とするならば、費用効率性は重要。
- 制度設計の観点では、制度間の相乗効果をいかに上げるかという観点が重要。エネルギー部門では、2030年の断面を超えて（整備に）時間のかかる、広域の系統整備も論点。
- 各国の長期戦略でカーボンプライシングをどのように位置づけていて、日本の議論にどの程度親和性があるのか、確認した上で、制度設計すべき。
- 価格シグナルで資源配分を誘導することは効率性の観点で一定の意義があるが、投資のバランスを考慮すると、手段の多様性を一定程度担保する必要がある。必ずしも規制的手法を否定するもので

はない。また、既に導入されている規制等の制度の実効性を踏まえた上で、カーボンプライシングを検討する必要がある。

- 日本のエネルギー諸税の税率は、CO2 排出量の観点で見ると非常にばらつきがあることが問題。
- 産業競争力の観点では、国際的な調整に関する制度も議論すべき。
- 英国で他国より人的労働力コストが高く機械化インセンティブが高かったことが産業革命の要因と指摘されることを踏まえると、日本のエネルギーコストが高いことは低炭素社会へのイノベーションの追い風とも言える。

【議題6：カーボンプライシングの効果・影響】

- 理論的な検討のみならず、日本でどのような方法が適切か、事務局から具体的な案を提案していただき、それを検討していくことが必要。
- カーボンリーケージの問題に留意して制度設計する必要がある。ただし、韓国・中国でも導入され、どの国でもカーボンプライシングに直面する世界となっており、リスクは下がっているかもしれない。
- 収入の使途については様々な観点があり得る。幅広い視点で、マクロでみて経済に資するような使途を検討する必要がある。
- 最初は低い税率で導入し徐々に引き上げる、特定の地域に限定して導入するという方法もある。政策的な実行可能性を高めるプレゼンテーションが必要。
- 長期的な観点で、どの段階でどのように取り組むことが最も効率的かを検討することも重要。
- エネルギー問題を議論する際は、エネルギーセキュリティの観点にも留意いただきたい。
- 革新的な低炭素技術への投資を促進するためには、低炭素技術の将来的な価値が増す見込みがつくよう炭素価格のシグナルを効かせる必要。
- カーボンリーケージについては、世界銀行の整理のほか、国内（環境省、財務省）でも検討の蓄積があるのでこれらを踏まえて検討を深めるべき。
- EU-ETS の排出枠価格が下がっていることは大きな問題ではないと思うが、批判もあるところであり、更なる分析が必要。
- 時系列分析と横断的分析を組み合わせたパネル分析は有効。本当に知るべきは炭素価格に対する炭素消費量の弾力性ではないか。必ずしも国レベルで分析する必要はないかもしれず、ミクロな観点で分析する方向が良いかもしれない。
- 租税論の観点では、カーボンプライシングは作用目的税が想定されるが、諸外国を見る限り別の使途目的に使っても問題ないこととなっている。概念的に整理しておく必要がある。

(以上)